

- 本競技会は、2023年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会申し合わせ事項によって行う。

競技規則及び競技者・指導者の注意事項

1. 招集（コール）

- (1) 招集の時間は ①トラック競技は開始予定時刻の40分前～20分前 ②フィールド競技は60分前～40分前とする。
- (2) 四種競技の招集は、最初の種目のみ上記（1）の時間で行う。次の競技からは、競技開始時刻に遅れないように注意して、招集所で競技者係の点呼を受けてから競技場所へ集合すること。（現地集合ではない。）
- (3) 招集所においてアスリートビブス(ナンバーカード)・スパイク等の最終点検を受けて第4ゲートより入場する。入場は全て競技役員（補助員）の誘導による。招集時刻に遅れた者は棄権とみなして出場を許されないため、特に注意する。氏名に誤記載があった場合には、朝の学校受付の際に正しく訂正する。
- (4) 朝の時点で欠場が決まっている者については、欠場届を朝の学校受付時に提出すること。尚、その後怪我等で欠場する者が出了た場合には、本人または代理人が招集所に、招集完了時刻までに欠場届を提出すること。
- (5) 招集所は、第4ゲート（200mスタート付近）の外側に設ける。

2. レーン順・試技順

トラック競技のレーン順及びオーダー（スタート時の整列順）は、プログラム記載の○数字のとおり、フィールド競技の試技順は、上から下の順序とする。

3. 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。四種競技については、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートをした競技者は、すべて失格とする。
4. 「スタート時の不適切行為」に関しては、審判長より警告（イエローカード）を与えられることがある。本大会では、この場合はイエローカード2枚で当該種目のみを失格（レッドカード）とし、それ以後の種目からは除外しない。
5. 800mはオープンレーンで実施をする。
6. 150mのスタート位置は、400mH7台目設置ラインの5m後方からとする。また、1000mのスタート位置は3000mのスタートラインからとする。
7. バーの上げ方（天候などの状況によっては、変更する場合もある）

◇走 高 跳（走高跳は、2グループに分けて行う場合がある）

男子四種：1m30-35-40-45-50-55-58・・・以降 3cmずつ

女子四種：1m10-15-20-25-30-35-38・・・以降 3cmずつ

◇棒 高 跳

女 子：1m80-90-2m00-10-20・・・以降10cmずつ

8. 円盤投は投てき場、ジャベリックスローはメイン競技場で競技を行う。
9. 三段跳の踏切版は、8m・10mを使用する。
10. 競技用シューズの規定について ※四種競技も同様とする。
 - (1) WA規則TR5.2を適用する。なお、フィールド競技用シューズについては適用を除外する。
 - (2) 規定外シューズ使用者の扱いについては「失格扱い」とする。なお、疑義があった場合は検査等の確認を行う。
11. AD規制について
メイン競技場・補助競技場・投てき場への入場は、選手・競技役員・補助員及び指導者のみとする。ただし、指導者のメイン競技場への入場は、練習開放時間のみとする。
12. その他

- (1) トラック競技の出場者は、プログラムの○数字と同じ腰ナンバーカードを、招集所で競技者係から受け取り、パンツの右横（800m以上の競技については両腰）、やや後方に付けること。フィニッシュ後、係に返却すること。
- (2) 選手は、第4ゲート（200mスタート付近）からの入退場及び第1ゲート（100mスタート後方）から退場することができる。トラック競技のフィニッシュ後は、バックストレート側（競技場内）を回って自分の荷物を取りに行き、第4ゲート（200mスタート付近）又は第1ゲート（100mスタート後方）から退場すること。その際、競技進行の妨げにならないように注意し、競技役員の指示があった場合は従うこと。
- (3) アスリートビブス(ナンバーカード)の数字は、読み取りやすいようにはっきりと書き、胸と背にしっかりと付けること。走高跳、棒高跳および走幅跳の競技者は、背または胸に付けるだけでもよい。
- (4) 大会運営に支障をきたすので、トランシーバーの使用を禁止とする。
- (5) スタンド最前列や通路で立ち止まっての観戦は禁止とする。
- (6) メイン競技場への「のぼり旗」及び「応援横断幕」の設置についてはサイド・バックスタンド最上段手すり部分のみとする。
- (7) ウォーミングアップについては『練習会場の使用について』を遵守し、事故のないように行うこと。
- (8) 朝の練習開放時間帯は第1・3・4ゲートを開放する。